

# 北秋田の元気な産業が一堂に集結



大勢の来場者で賑わった第5回産業祭

「いいもの発見 笑顔で発進 がんばろう北秋田！」をテーマに、第5回北秋田市産業祭が10月22・23日の2日間、鷹巣体育館を会場に行われ、農・工・商全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める大勢の来場者で賑わいました。

産業祭は、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、JAなどで作る実行委員会の主催で行われているもので、昨年は第133回秋田県種苗交換会が当市を会場に行われたことから2年ぶりの開催で5回目となりました。

会場の鷹巣体育館には、開場の午前10時前から大勢の人が詰め掛け、ステージ前で開会セレモニーが行われました。はじめに産業祭会長の虻川広見副市長が「今年は年明けの大雪に始まり、夏の集中豪雨等異常気象の影響により農作物の生育が心配されましたが、農業に携わる方々のご苦労により立派な作物が出品されています。3月の東日本大震災では多くの方々が犠牲となりました。時が経つにつれ元気の出るイベントや日本中から元気を発することが求められています。2日間でありますがたくさんのご来場をいただき、ここ北秋田市から被災地の方々へ大きな元気を発進できれば

と思います。今日、明日の2日間、お楽しみいただきながら今後の北秋田市の産業、農業を皆さんと一緒に考えながらこのイベントを大いに盛り上げていただきたい」などと主催者を代表してあいさつ。

続いて、農畜産物品評会の表彰が行われ、出品260点の中から選ばれた各等賞10点、式等賞20点、参等賞24点が表彰されました。引き続き、津谷市長、佐藤吉次郎市議会議長、近藤健一郎県議会議員、北林正文県議会議員が来賓としてあいさつ。このうち、津谷市長は「産業祭は農作物のみならず製造業、商工業を含め素晴らしいものを北秋田市で作っていることを見ていただく、知っていただく機会。参加していただいている農業、商工業の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。みなさんからの元気をいただいでこの北秋田市をもっと盛り上げていきたい。この産業祭の期間を通して多くの皆さんが会場に足を運んでいただき、北秋田市

のすばらしさと北秋田市の良さを感じていただければありがたい」などと祝辞を述べました。

場内では、JA農産物展示品評会、事業者による製品の展示や販売、今年開校した秋田北鷹高等学校の学校活動の紹介、秋田内陸線や大野台工業団地のPR、鷹巣技術専門校の展示、鷹巣建設技能組合による建築技能大会課題実演などが行われました。ステージでは、秋田北鷹高等学校吹奏楽部の演奏、坊沢営農組合の「とうふ早食い

大会」、鷹巣菓子工業組合による「お菓子銘柄あてクイズ」、「民謡ショー」、北秋田市出身のシンガーソングライター本城奈々さんの「まねタレント翔子さんの「ライブステージ」などが行われ、会場を盛り上げました。また、サブ体育館と屋外のテント村では「びっくり商業祭」が開かれ、農産物やお菓子、スポーツ用品などが格安販売されたほか、食堂や比内地鶏焼き鳥ふるまいコーナーが設けられ、多くの買い物客で賑わいました。



「坊沢営農組合」主催のとうふ早食い競争（子供の部）



行列ができた比内地鶏焼き鳥ふるまいコーナー



▲秋田北鷹高等学校のブース

▲警察広報ブースで記念写真



▲サブ体育館や屋外テント村では「びっくり商業祭」



▲北秋田市産業祭農畜産物品評会で各等賞を受賞者されたみなさん



北秋田市長賞受賞のきゅうり（金田悦子さん生産・上）と山の芋（布田舞子さん生産・下）



農畜産物品評会に出品された見事な農産物

